

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	奈良井宿 城跡整備・活用事業
事業主体 (連絡先)	認可地縁団体 奈良井区 塩尻市大字奈良井497番地3
事業区分	(5) 観光保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	5,092,570円 (うち支援金: 3,735,000円)

事業内容

奈良井宿は昭和53年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され40年が経過した。現在は塩尻市を代表する一大観光地。一方、転出や高齢化等でまちの担い手不足から、住むまち・観光するまちとしての、両輪の魅力づくりが課題となっていることから、地域の象徴的な歴史資源の奈良井城跡の整備を行い、再発見、再認識、再発信し、観光地としての付加価値を高め新たな来訪者やリピーター等の確保に努める

- ・奈良井氏居館跡主郭等回廊整備、奈良井宿眺望確保
- ・ワークショップ開催：奈良井会館・奈良井氏居館跡
10月22日46名参加、3月21日17名参加

事業効果

- ①支援金を活用して、往時の奈良井城の形状を顕在化させ、奈良井宿の成立ちを視覚的に表現できた。
- ②ワークショップによって、地元中学生の新たな地域学習のテーマとなり、奈良井宿との関連性を継続的に学ぶ機会となった。また、多くの参加者が笹本先生による史跡への可能性の解説に傾聴し、指定活動への参画の意思表示があった。
- ③塩尻市観光協会や市と包括連携して伝統的建物を活用した地域づくりを行う企業と情報共有し、来訪者の確保に努めることによって現地を訪れる人が目についた。

今後の取り組み

奈良井城の草刈りなど景観維持は有志等で行ってきたが、区や観光協会、協力企業と定期的実施する。また、眺望確保のための間伐・枝打ちについては地主の承諾が得られたことから、住民でできる範囲で作業を開始し視認性の確保に努めるとともに、宿場内からのアプローチについてサイン計画を関係者と協議する。

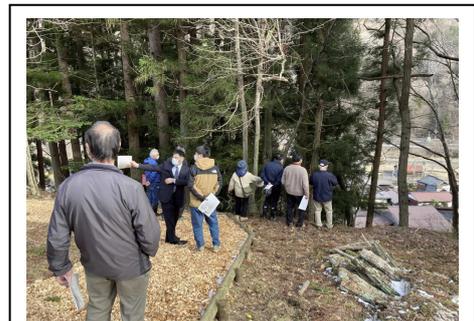
史跡指定に向けた機運が高まったことから、引き続き関係者を招いて学習会などを行うとともに区の組織内に担当部署を設け研究する。また、奈良井区まちづくりプロジェクトで地域資源を活用したまちづくりの一部に活用する。

塩尻市観光協会、奈良井宿観光協会、地域内企業などと活用方法について連携し誘客に努める。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【現地見学会Ⅱ】

【目標・ねらい】

- ①歴史資産の見える化
- ②史跡保存・活用への住民意識醸成
- ③来訪者やリピーターの確保

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・大雪のため期間延長したが予定通り完成した。
- ・歴史資源の認知、史跡化への意識醸成が図れた。
- ・整備完了が春先となり来訪者が限られた